

# 授業科目 言語聴覚障害診断学

【担当教員名】 糟谷 政代 他		対象学年	2	対象学科	言語
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎				
【概要・一般目標：G10】 言語聴覚障害にかかわる各障害の病態特性を理解した上で、現症に関する必要な情報を収集し、言語病理学的に評価、診断する基本的な知識を習得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 各種の言語聴覚嚥下障害の病態特性を理解できる。 2. 情報を適切に収集することができる。 3. 収集した情報を統合して解釈することができる。 4. 1～3によりの確に評価、診断することができる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	総説			1～4	講義、担当：糟谷 政代
2	概説（成人領域）			1～4	講義
3	概説（小児領域）			1～4	講義
4	成人言語障害			1～4	講義
5	高次脳機能障害			1～4	講義
6	成人発声発語障害			1～4	講義
7	聴覚障害			1～4	講義
8	聴覚障害（成人聴力検査）			1～4	講義
9	摂食・嚥下障害			1～4	講義
10	摂食・嚥下障害			1～4	講義
11	小児言語障害			1～4	講義
12	小児言語障害			1～4	講義
13	小児発声発語障害			1～4	講義、担当：糟谷 政代
14	小児発声発語障害			1～4	講義
15	まとめ			1～4	講義、担当：糟谷 政代
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		新編言語治療マニュアル	笹沼澄子, 伊藤元信 (監修)	医歯薬出版	2002・6,400円＋税
その他の資料		必要に応じて配布する			
【評価方法】 定期試験を中心として総合的に評価する。			【履修上の留意点】 開講日時は変則的になるので日程表の掲示に留意すること。		